

調達管理番号・案件名	
25a00050_エクアドル国沿岸地域における生態系保全能力強化プロジェクト	

質問と回答は以下のとおりです。

2025年5月26日

質問番号	ページ	項目	質問内容	回答
1	10	第3条 実施方針及び留意事項 2. 本業務に係る実施方針及び留意事項 (3)プロジェクト実施に係る先方負担事項	経理処理ガイドラインP.8では『技術協力プロジェクトにおいて、C/Pの旅費(第三国研修への参加に要する旅費は除く)は原則計上できません。』と規定されていますが、本件の指示書P10.(3)プロジェクト実施に係る先方負担事項では、『本省からの出張は飛行機を利用するケースも多くなることが予想され、これらを考慮すると移動にかかる経費が膨らむ可能性が高く、カウンターパート(以下「C/P」という。)の出張旅費について先方と前広な協議が求められる。』とございますところ、C/Pの出張旅費について見積に計上することは認められますでしょうか。 また、C/Pの出出張旅費の計上が認められる場合は、航空賃・日当・宿泊費の全てが含まれますでしょうか。 加えて、成果1・2に関して実施が予定されているセミナーにおいて地方から本省へC/Pを呼ぶ場合の旅費も計上して良いでしょうか。	協議してC/Pに負担いただくことを想定しているので、見積への計上は必要ありません。 協議の結果、プロジェクト負担することとなった場合は、必要な対応を検討させていただきます。
2	12	(9)セミナーの実施	6回(3日間/回)とありますが、会場はMAATE会議室等、先方政府機関の会議室を利用できるとの想定で良いでしょうか？会場費を本見積に含める必要が無いのか、という趣旨です。 また、想定されている会場がございましたら、ご教示いただく事は可能でしょうか。場所に応じて、参加者の交通費を概算で計上させていただきます。	企画競争説明書に記載のとおりセミナー参加者は30人を想定しており、この規模であればJICAエクアドル事務所での実施が可能なので会場費は発生しません。
3	14	(3)その他② ベースライン調査及び脚注、⑤ エンドライン調査	ベースライン及びエンドライン調査は、成果2で行うパイロットコミュニティにおける生計向上活動を対象とした調査(活動2-1及び2-8)に加え、プロジェクト全体の成果、目標をモニタリングするベースライン及びエンドライン調査の2つを実施するという理解でよろしいでしょうか。	成果2で行う生計向上活動を対象とした調査が該当します。プロジェクト全体の成果などについては、モニタリングシートに記載ください。

4	19	機材調達	表に記載の想定機材は、本見積に含めることを想定されているでしょうか？また、表にある機材を変更または追加する場合においても本見積になるでしょうか？ 機材は想定であり、C/Pや発注者との協議の上で決定されることから、可能であれば別見積りや定額計上とさせて頂けないでしょうか？	企画競争説明書に記載のとおり本見積に含めてください。なお、第2章第7条に記載のとおり、これら機材はあくまで想定であり、別機材の必要性があれば機材についてもプロポーザルで提案してください。その場合に別機材の提案により見積が上限額を超える場合には超過分については別提案・別見積としてください(企画競争説明書第3章3.(2)に記載のとおり)。
5	22	(7) 1) ③第三国研修	第三国研修の規模、および経費に関しては、別途契約開始時に確認・決定するということでしょうか。従いまして、今回のプロポーザル提出時の見積書には、本経費は計上不要の理解でよろしいでしょうか。	第三国研修については、契約開始後に協議させていただきますので、見積への計上は不要です。